

公益信託うつくしま基金 助成事業実績報告書（第13回助成金）

平成28年5月30日

公益信託うつくしま基金
提出先 株式会社東邦銀行

公益信託うつくしま基金の平成27年度（第13回）の助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり報告します。

また、この実績報告書および添付資料に記載の事項は、当公益信託の運営に必要な範囲で、当基金の運営委員・委託者・受託者（代理店）・サポート組織であるうつくしまNPOネットワークが取得・利用すること、また、氏名・団体名・事業内容等の情報が主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて同意いたします。

1 報告者・連絡（書類送付）先 【助成申請時からの変更：あり・なし】 ←○を付して下さい。

助成受給者（団体）名	(7)カ) トクテイヒエイリカツドウホウジン イイザカサポーターズクラブ		
	特定非営利活動法人いざかサポーターズクラブ		印
代表者名	(7)カ) フジワラ ジュン		
	藤原 純		(年齢46歳)
住所・連絡先	〒960-0201 住所 福島県福島市飯坂町字湯沢26番地 固定電話 (024)529-6125 FAX (024)529-6126 携帯電話 (090)1934-1913		
	連絡担当者名	(7)カ) サトウ コウヘイ 佐藤 耕平 (年齢40歳)	連絡先区分
連絡（書類送付）先	〒960-0201 住所 福島県福島市飯坂町字湯沢26番地 固定電話 (024)529-6125 FAX (024)529-6126 携帯電話 (070)5472-1458		

2 事業名称（申請書提出時と同一の事業名称を記入してください。）

もにわ活性化プロジェクト

紹介商会業務

3 助成コース・助成額・事業期間

事業費総額（実績額）の減少等により、既助成額>事業費総額×コース別助成割合となる場合は、超過部分が減額対象となります。

助成コース名 ※助成を受けたコースに○印を付け、助成額・事業費総額（実績）を記入して下さい	スタートアップ支援コース		助成額 400万円 事業費総額
	100年後も…いきいき ふくしま うつくしま（県民運動）実践コース		
	※県民運動実践コースの場合は右記のどの重点テーマに該当する事業か、該当するものに○をつけて下さい。	地域コミュニティの再生	
		安全で安心な地域づくり	
		子育てしやすい環境づくり	
環境問題への対応			
○ 発展事業支援コース			
	自治体との協働コース		
事業期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日		744.5万円

4 組織等の状況

会員数・共同参画者数	会員数・共同参画者数	48名（本事業による増加ありなし）←○を付して下さい
事業を終えての感想や今後の事業予定等	<p>昨年度に続き、うつくしま基金による2年目のもにわ活性化プロジェクトを実践しました。</p> <p>一昨年より予算規模を増やして春、夏、秋と大きな主催イベント開催や茂庭地区でのマラソン大会でのお手伝い及び春から秋にかけては摺上川ダム湖でのカヤック体験を常時開催しました。</p> <p>春モニカツでは、地元の方を始め仮設住宅の方々に参加していただき、ダムのふもとで花見をしながらのカラオケ教室にて交流いたしました、仮設に住まわれて方々は、日々のストレスの解消に繋がり、地元の方々には、日頃静かな町内ににぎわいを感じていただけました。</p> <p>夏モニカツでは、デイキャンプイベントでは県内外からの参加者で、茂庭の自然を感じていただき、また、新たな夏のイベントに繋げるためのミニコンサートを行い参加者全員で今後のイベントあり方を考えました、夜には、ダム堰堤より花火を打ち上げまして、多くの地元の方々にも見ていただき、新たな夏の風物詩ができたこと喜んでいただきました。</p> <p>秋モニカツでは、旧茂庭中学校にて10日間に亘って福島市近郊の新人の作家にお願いをして、絵の展覧会や心を揺さぶるワークショップなどを開催しました。こちらにも多くの方々に参加していただきました。参加者には地元の方もおられ、懐かしい校舎に思いをはせており今後の動向にも関心を寄せておりました。</p> <p>カヤック体験では、福島内から40～50分でこれる然を肌で感じていただき、今後も茂庭地区へ来ていただけるきっかけになっていただけたと思います。</p> <p>茂庭山村文化研究では、福島市教育委員会や民家園手織りの会と「手織りフォーラム」を組織し、茂庭しなだ織を含めた福島の織文化の市指定文化財登録を目指して、講演会を開催しました。</p> <p>マラソン大会では、過去最高の参加者で開催することが出来ました。来年度は、マラソン実行員会よりマラソン事務局を請け負うことになっており、当法人が考える年間を通しての茂庭地区スポーツツーリズムの一端を担う大会にしていくこと。また、茂庭にて活動を行っている徐々に茂庭地区への観光者が増えていることを実感しておりますので、当法人が以前より問題提起しております、飯坂町茂庭地区における高齢化に伴う人口減少によって、担い手がいなくなってしまう田畑の耕作放棄地問題や、福島市内でも豊かな自然環境が残る茂庭地区の観光資源などを生かすことで茂庭地区への観光人口を増やし新たな産業を増やしながら、農業移住者などの担い手を探しながら交流人口の拡大と、地域固有の文化の復活によるライフスタイルの普及を目指します。</p>	

5 当事業に携わったスタッフ

氏名	当事業の担当業務	電話番号
佐藤 耕平	広報・事務・会計	070-5472-1458
藤原 純	イベント実施	090-1934-1913
熊倉 徹	各団体との調整	090-5929-4637
花房 誠	茂庭地区での連絡	090-3750-7978

※受託者は、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律57号）に基づき、申請者の個人情報を、公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用致します。

6 実施した事業の実績・成果【事業実績の写真を6ページの台紙に貼り(デジカメ印刷可)、添付して下さい】

(1) 実施した事業の内容

■情報発信

- ・facebookにて日々の出来事やイベント情報、実施の報告を発信。
- ・ホームページにイベント情報や茂庭地区情報を掲載、facebookとも連動して表示しました。
- ・茂庭総合パンフレット紙面による茂庭地区の自然環境・景観の素晴らしさを伝えられるよう、地元写真家の写真を多数掲載しながら、地域の施設やイベント情報を掲載して作成、配布。
- ・茂庭であそぼうパンフレット紙面にてスポーツアクティビティ紹介を作製、配布。

■春モニカツ

- ・地元の方を始め仮設住宅の方々に参加していただき、ダムのおもてなしで花見をしながらのカラオケ教室にて交流会を開催。

■夏モニカツ

- ・地元を始め県内外から参加していただきデイキャンプイベント、ミニコンサート、ダム堰堤からの花火大会を開催。

■秋モニカツ

- ・旧茂庭中学校にて10日間に亘って福島市近郊の新人の作家にお願いをして、絵の展覧会や心を揺さぶるワークショップなどを開催。

■ランニング講習会の実施

- ・6月、7月、8月、9月、10月と5回の開催月、

■摺上川ダム湖でのカヤック体験

- ・1人乗りカヤックを使用したダム湖面探索

■大学や実業団の陸上クラブへの合宿トレーニング誘致及び受け入れ

■第8回湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソン大会準備及び当日の運営

■茂庭山村文化研究

- ・「ふくしまの絹織りについて考える講演会」の開催

■環境美化及び調査活動…草刈り、放射線量調査(空間、土壌)

(2) 事業の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果など）

■情報発信

- ・ facebookページでのファン数131名 閲覧者数 7,515名（4月1日～3月31日）
- ・ ホームページ閲覧者数 約5,549名（4月1日～3月31日）
- ・ 茂庭総合パンフレット6,000部作製、マラソン大会参加者名1,500名配布のほか、県内外の施設30か所に配布及び各イベントなどで配布
- ・ 茂庭であそぼう3,000部作製、各イベントにて配布

■春モニカツ（約200名参加）

- ・ 仮設に住まわれて方々は、日々のストレスの解消に繋がり、地元の方々には、日頃静かな町内ににぎわいを感じていただきました。

■夏モニカツ（約1,000名参加）

- ・ 多くの地元の方々にも見ていただき、新たな夏の風物詩ができたと喜んでいただきました。

■秋モニカツ（約350名参加）

- ・ 県内外を含め地元の方々にも参加していただき、懐かしい校舎に思いをはせており今後の動向にも関心を寄せておりました。

■ランニング講習会の実施

【講師】原裕美子（元世界陸上代表） 【参加者】延べ141名（5回）

【成果】基礎トレーニング法や走り方、日々の身体のケアを学び、参加者が日々悩んでいる走り方や日々のトレーニング方法を習得していただきました。

■摺上川ダムでのカヤック体験

【参加者】延べ284名（28回）

【成 果】ご家族での参加が増えて、茂庭地区でのスポーツアクティビティが体験できることを知っていただきました。

■大学や実業団の陸上クラブへの合宿トレーニング誘致の受け入れ

- ・ 筑波大学、陸上部の長距離部員の合宿を7月に5日間受け入れました。
- ・ 秋のマラソン大会では、ゲストランナーとして参加していただき地元の方々と交流しました。

■第8回湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソン大会準備及び当日の運営

【参加者】約1,400名参加

【成 果】過去最大の参加者でリピーターも多い大会で、茂庭地区を好んで参加して頂けていると感じております。

■茂庭山村文化研究「ふくしまの絹織りについて考える講演会」

【講師】吉本忍（国立民族学博物館 名誉教授）、行松啓子（Kプランニング代表）

【参加者】100名

【成 果】福島の絹織文化が養蚕と共に発展し、そのなかで、しなだ織が果たしてきた役割を整理しつつ、多くの住民に知ってもらうきっかけとなりました。

■環境美化及び調査活動…草刈り、放射線量調査（空間、土壌、）

摺上川河川敷の草刈り作業や放射線量の測定・結果のホームページでの公開を行い、地域の安全性をアピールしました。

(3) 今後の課題

■地域の高齢化と人口減についての地元住民の意識

■廃校となった茂庭中学校の利活用についての地元住民の意向

■地域資源（人、自然、環境）の保全と活用

■上記を踏まえた地域協議会の設立

※事業を表す写真を貼付した用紙以外に、実施した事業について、参考になる資料等があれば、添付してください。（A4版1ページ以内厳守）

7 事業の収支（全ての収入及び支出について、証拠となる領収書や契約書等の写しを添付して下さい）

（収入の部）

（単位：円）

項目	予算額	決算額	予算比 (決算÷予算×100)	各収入内訳、内容、算出根拠を具体的に記入
うつくしま 基金助成金	4,000,000	4,000,000	100.0%	
他の助成金			%	
自己資金	3,445,000	3,378,958	98.1%	飯坂前マラソンからの補助金=1,283,750円 各体験会参加料=514,600円 協賛金=559,500円 イベント参加料=143,600円 その他=877,508円
その他 ()			%	
収入合計	7,445,000	7,378,958	98.1%	収入合計が支出合計と一致していることを 確認して下さい

（支出の部）原則、項目間の流用は認められません。基金を利用した項目には○を表示してください。

基金を利用した項目（○の項目）が申請書と同じであることを確認してください。（単位：円）

項目	基金 利用	予算額	決算額	予算比 (決算÷予算×100)	各支出内訳、内容、算出根拠を具体的に記入
外部 講師謝金	○	950,000	800,370	84.2%	別紙参照
人件費	○	870,000	1,004,800	115.5%	別紙参照
物品購入費	○	330,000	393,881	119.4%	別紙参照
委託外注費	○	2,366,000	2,395,730	101.3%	別紙参照
機材等 借上料	○	1,700,000	1,664,028	97.9%	別紙参照
会場施設 使用料	○	110,000	107,856	98.1%	別紙参照
旅費交通費	○	172,000	151,968	88.4%	別紙参照
通信連絡費	○	320,000	261,771	81.8%	別紙参照
事務諸経費 (事務用品等)	○	110,000	125,282	113.9%	別紙参照
その他	○	517,000	473,272	91.5%	別紙参照
支出合計		7,445,000	7,378,958	99.1%	「助成金既振込額>支出合計×コース別助成 割合」となる場合は、減額（返還）対象となります

※領収書等（写）は、7ページの「領収書等添付用紙」に項目毎に糊付けし、合計金額を記入して下さい。

（増減理由等説明欄）項目単位で20%以上の増減、その他の変更項目があった場合は理由を記入して下さい。

--

【 写真貼付用紙 】

助成受給者
(団体・グループ) 名

特定非営利活動法人いざかサポーターズクラブ

事業の実績を表す写真を1枚以上貼付して下さい。(デジカメ印刷可。大きさ、タテ・ヨコ問わず)

春モニカツ



カヤック体験



夏モニカツ



秋モニカツ



「ふくしまの絹織り講演会」



マラソン講習会



第8回湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソン大会

